

ODA

特定非営利活動法人
沖縄県脊髄損傷者協会

しゃりん 114号

編集：NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL & FAX. 098-886-4211（平日9:30～17:30）
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室
E-Mail office@okisekikyo.com facebook公開中！
HomePage <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/> 発行：沖縄県身体障害者福祉協会

テラス パーリー 開催

10月25日(土)
ムーンテラス東崎



去った10月25日土曜日、会員の皆さんを招いてムーンテラス東崎にてテラスパーリーを開きました。例年はビーチパーリーを行っていますが、テラスがあるカフェレストランでいつもと違った雰囲気味わっていただきました。会場は野外ですが屋根付きになっており、雨天でも問題なし。集まった関係者の人数は約25名で、全員が顔を合わせるのにはちょうどよい規模。久しぶりに会う方もおり、終了時間ギリギリまで盛り上がっていました。

ハンディキャップ(HC) 駐車場 にみる性善説的制度の限界

ある建物の駐車場に車を駐めに行った時のこと。駐車スペースにはいつもポールが立ててあるのでそのまま車を駐めることができず、たまたま空いていた一般用スペースの端に駐めることにしました。その時偶然、そのHC駐車場のポールをどかして駐車する車両があり、歩行困難でもなさそうな高齢者の方が店舗内に入っていました。車内を見ると「那覇市身障者用駐車場利用認定証」が。施設管理事務所の方にお聞きしたところ、以前にその方がHC駐車場の「一般利用者の駐車に対する対策」を申し入れたことでポール置きがはじまったようです。そもそも那覇市のパーキングパーミット

版が対象を広くしたことで、自称障がい者が認定証を取得してHC駐車場を利用できてしまっていること、障がい当事者等にも「ポールがあると（ポールを自分でどけることができず）使用できない人たちがいる」という認識不足も大きな課題です。特に「お年寄り・高齢者」のHC利用について悩ましく、性善説的制度の限界があると感じています。



投票所のバリアフリー問題

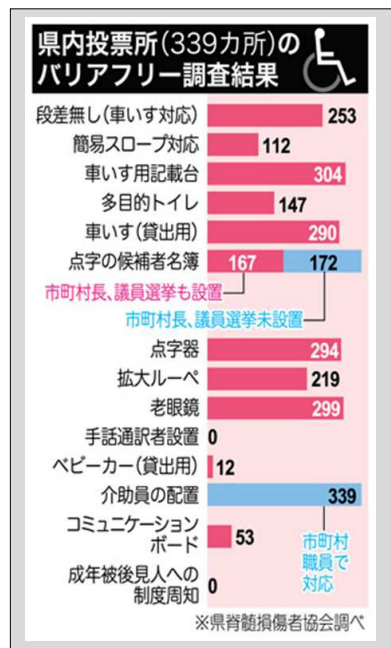
県知事選を前に、沖縄協では県内全ての投票所（339カ所）のバリアフリー調査を実施。また、その調査結果を踏まえたトークライブ「選挙とバリアフリー」を11月3日に県総合福祉センターで開催しました。この取り組みは新聞でも大きく報道され、県民喚起につながったと思います。課題が多かったゆえに、沖縄協が苦勞して取り組んだ甲斐がありました。バリアフリー調査結果をまとめると、次のようになりました。

①段差等のハード面は、都市部については段差があっても簡易スロープを整備している等の代替的方法でアクセス力は高く感じる。「段差及び簡易スロープなし共に」という箇所が25か所あり、そのうちうるま市が10か所と多い。

②ソフト面とされるコミュニケーション障がい（視覚、聴覚）対応について、点字の候補者名簿については国・県は設置しているが市町村選挙は設置していないところが半数もあり、国政と地方選挙の同一選挙の際には、投票所内に格差があることを認識していながら設置していないことに大きな課題があるなど、ソフト面の遅れが目立つ。

③投票所内での介助員配置は、全ての投票所が自治体職員配置となっていて、介助手法を理解した人材配置ではない。

④昨年制度改正により、成年被後見人の選挙権回復を本人及び後見人に周知を図る必要があるが取り組まれていない。



これらの中で特筆されることは、那覇市が県知事選挙から「コミュニケーションボード」設置を予定していることは契機となったことです。また、この調査結果や等を踏まえ、11月13日に沖縄県庁内



にある沖縄県選挙管理委員会に今後の選挙のバリアフリーに関する施策について、下記の3点を要望しました。

1. 障がい当事者の声を反映した「選挙におけるバリアフリー推進」を目的とした指針又はマニュアルを早期に策定してください。
2. 市町村の投票所施設のバリアフリー化が図られるよう施策を講じてください。
3. 上記の1と2の施策を基にした、各市町村における「選挙のバリアフリー推進実施計画策定」を推進してください。



facebook見れます
 会員登録無しでfacebook見れます
 しゃりんに載せきれない福祉制度やお知らせを日々アップしています。
[facebook.com/okisekikyō](https://www.facebook.com/okisekikyō)

ピアサポート活動 ～手動運転装置体験～



砂川事務局長から説明を受ける相談者の方

自動車運転用の手動装置を使ってみたいという女性の方から問い合わせがありました。

相談者さんは腰椎損傷で杖をつけて歩き、現在は手

動装置無しで軽自動車を運転していますが、体の状態が悪くなっていることもあり、手動運転装置の導入を考えていました。しかし手動運転装置付きの自動車で練習できる教習所は数が少なく、また自宅からも遠いのでそれもできず、悩んでいらっしゃいました。そんな時、リハビリで通っている病院に掲示されていた「しゃりん」を目にし、思い切ってこちらへ問い合わせしたとのこと。

さっそく本日、沖脊協事務所がある総合福祉センター向かいの駐車場で手動装置の説明を受け、運転の練習を行いました。相談者さんは運転が困難になる状況に大変不安を抱いている様子でしたが、実際に手動装置を使ったり、助成制度の説明を受けることで少し安心した様子でした。

沖脊協では、手動装置のお試し利用や導入についての相談も受け付けております。今回は理事長個人の車をお試しで利用していただきましたが、来年1月頃より損保ジャパンの自動車購入費助成を元に購入した手動装置付きの軽自動車が利用できるようになりますので、お気軽にご連絡ください。

家電操作をパソコンで～障がい者ITサポート活動～

障がい者IT支援試行事業の一環で、うるま市にある会員の山城敦さんの自宅に初めてお邪魔しました。山城さんはパソコンやリモコンを、スティックをくわえて操作します。今回はパソコンからリモコン操作ができるようになる「なんでもIR」をお試しで使えるように設置と設定を行ってきました。さっそく大型テレビとクーラーを登録してパソコンから動かせることを確認。

山城さんは、今まではクーラーのON/OFFやテレビのチャンネル・音量の操作などは都度家族にお願いするしかなく、気を遣ってきましたが、これを使えば「好きな時に、好きなだけ自分で操作ができる」ようになるのでかなりお気に召されたようでした。

仲根理事長はうるま市で利用できる福祉サービスの紹介と利用方法など、山城さんに必要と思われるサービス情報を提供。また、「なんでもIR」は（うるま市では）障害者等日常生活用具給付事業の対象になっていて、その手続き方も教えていました。



じつはfacebookは
会員登録しなくても見れます。
障がい者ITサポートおきなわ
facebook.com/okisekikyo.itsupport

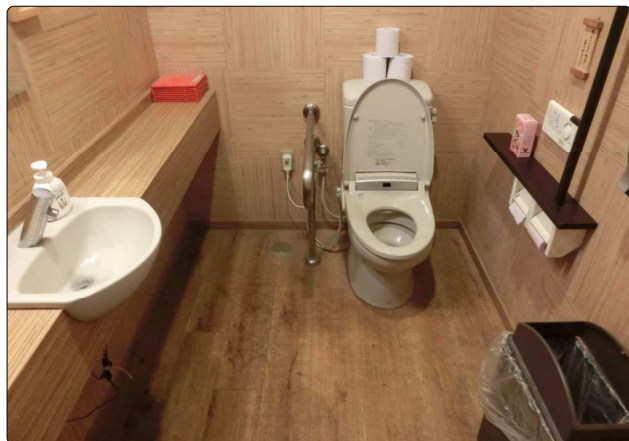
バリアフリースポット 『我部祖河食堂 中城店』

329号線沿いにある、中城モール近くの我部祖河食堂。店長さんの家族が車椅子の方らしく、お店は完全バリアフリー化されています。

なかでもすごいのは、身障者用トイレが2つも完備されていること。トイレ内は日常用車椅子が転回できる広いスペース。店内は椅子は全て移動可。机も移動できるので、車椅子がたくさん来ても大丈夫です。駐車場も十分な広さを確保していますので安心して入ることができます。(砂川)

我部祖河食堂 中城店

TEL. 895-5223 定休日：元旦
〒901-2401 中城村字久場2018-1
平日：11:00～18:00、土日祝：11:00～20:00



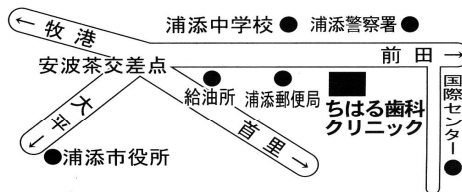
ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています！
対象者：在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。
病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

R.C.Y.
Rehabilitation Clinic Yamaguchi

リハビリテーションクリニック
やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝1-10-28
TEL 098-864-1100

診療スタッフ

医師 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医
副院長 山口 浩 整形外科専門医
リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶身体機能訓練
▶身体能力訓練	
▶言語訓練	
▶摂食嚥下訓練	
▶認知訓練	
診療時間	月 火 水 木 金 土
午前 9:00～11:30	○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 2:00～ 6:00	○ ○ / ○ ○ /

安らぎ・癒し・元気を提供します。



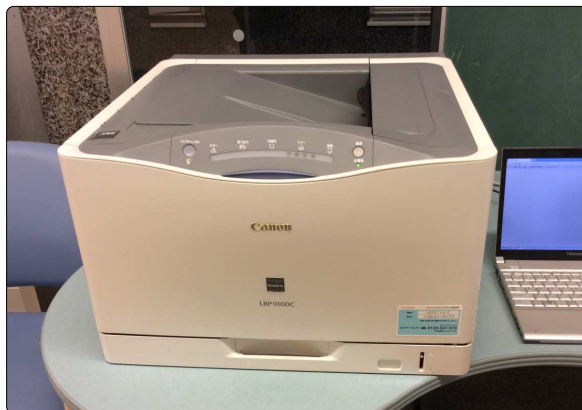
沖縄フェニックス 九州1位、全国出場決定



11月22～23に大分県で行われた全国大会の九州地区予選にて優勝し、来年の全国大会の出場が確定しました。2年前はまさかの3位で日本選手権の連続出場が途絶えてしまいましたが、なんとか振り返ることができました。

カラーレーザープリンタ頂きました！

イベント等でお世話になっている「難病支援アンビシャス」さんから、不要となったカラーレーザープリンタをきよいただくことができました。今後大いに活躍することと思います。アンビシャスさんありがとうございました。



沖縄県における超高度救急 体制整備について政府の見解

現在の医学では、脊髄を損傷した直後の約2週間以内（急性期）に専門的な医療体制の元に適切な治療を行い、その後リハビリを行えば、そうでない場合と比較してその後の機能回復や社会復帰率に大きな差が出るということがわかっています。

しかし沖縄県では、急性期の脊髄損傷者専門の受け入れ施設がなく、本来可能なはずの機能回復を果たせないままに終わる患者も少なくありません。この問題に対して沖脊協では政府へ改善要請を行っています。

この件に対し、2014年10月号の脊損ニュースに全脊連が厚生労働へ行った省庁交渉記録が掲載され

ており、沖縄県における脊損センターの脊髄損傷者の超高度救急体制整備についてのやりとりがありました。内容をまとめると、国は対応の必要性を検討していくことと返しています。



いつも会費をお支払い頂きありがとうございます。まだの方は事務所へ直接お越し頂くか振込をご利用下さい。

会費
納入の
おねがい

正会員
年間 6,000円

賛助会員(個人)
一口 3,000円

賛助会員(団体)
一口 5,000円

楽R天
楽天銀行

楽天銀行 第二営業支店（普通）7104311
（トクヒ）オキナワケンセキズイソンショウシャキョウカイ

沖縄銀行

沖縄銀行 石嶺支店（普通）1520193
（特非）沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作

りゅうぎん
琉球銀行

琉球銀行 石嶺支店（普通）445603
特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根 建作

私たちは、旧沖縄脊髄損傷者連合会時代を合わせて今年で創立30周年を迎えました。沖脊協では30周年の企画として、下の写真のようにメッセージと共に会員等のご家族も含めた写真を撮り、記録集としてDVDに収めること、ホームページに特別コーナーを設けアップする予定であります。皆さんのもとに理事が写真撮影に伺います。ご協力できる方は事務所まで足を運んでいただくと助かります。

実施期間

平成26年11月15日～12月20日まで

実施方法

- ①役員及び協力いただける会員で、手分けして個別に写真撮影を行う。
- ②必要に応じ郵送でメッセージボードを送り、ご自分で写真撮影していただく。

メッセージ内容

沖脊協結成30周年のおめでとうメッセージまたはご自分の目標。



おめでとうメッセージDVD記録事業開始
 —沖縄県脊髄損傷者協会結成30周年記念—

新年会・30周年記念イベント1/24(土)決定

今年度は2015年1月24日の土曜日に、沖縄市のプラザハウス内にある「ビアレストラン ケニーズ」にて新年会を行うことが決定しました。今回は30周年の記念イベントを同時に行いますので、よりたくさんの方が集まること

を期待します。
 なお、後日沖脊協より案内文書と参加確認の返信用ハガキを同封した封書をお送りする予定でありますので、参加する／しないに関わらずご返信ください。

発行人 沖縄県南風原町字神里六三一 編集人 沖縄県那覇市首里石嶺町四一三七三一 沖縄県総合福祉センター西棟二F
 沖縄県身体障害者福祉協会 ボランティア小規模団体室・NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会しやりん編集部 砂川昭人

購読料は会費に含む
 頒価二千円